

戦争をさせない Anti-War Committee of 1000 1000人委員会

1000人委員会ニュースNo.23

(2015年6月10日号)

〒101-0063東京都千代田区
神田淡路町1-15 塚崎ビル3階

TEL:03-3526-2920

FAX:03-3526-2921

■総がかり行動実行委員会 国会議員要請行動

戦争をさせない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会の3団体は、衆議院安保特別委員会の委員と民主党、社民党、共産党、生活の党と山本太郎となかまたちに対して、戦争法案を成立させないことを求める要請行動を行いました。

民主党・長妻昭代表代行(衆院安保特別委員)

「野党が結束することが与党に対する脅威だ。与党が勝手に80時間と言って、マスコミもそれに乗っているが、PKO法案は3国会をまたいで審議されたし、海部元総理の時の平和協力法案は廃案になった。時間制限ありきの審議は認められない。中谷防衛大臣は憲法を法案に合わせるなどと、とんでもないことを言っている。全く逆であり、あの発言は答弁書に書いてあることを読み上げているので単なる失言ではなく公式な発言なので非常におかしい。この法案を撤回させるには、時間も重要だが論理的に攻めることが重要だ。防衛大臣も外務大臣も答えられない法律を出してきたのは法案に欠陥があるということだ。憲法解釈で無理矢理に出してきた法案で矛盾だらけだ。どう考えても憲法違反であり、与党の中でも疑問の声が上がっている。国民の世論でこの法律を通させないことも重要だ」

民主党・辻元清美政調会長代理(衆院安保特別委員)

「本当に大変な時期だが、民主党はとにかくこの法案を止めるために闘う。戦争に踏み出しかねないという点で、60年安保、70年安保よりも今の方が厳しい状況だ。私たちは院内の闘争に力を尽くさなければいけないので、国会外での運動や国会包囲行動と連携して頑張っていきたい」



民主党・長妻昭議員に要請(衆院第二議員会館)



民主党・辻元清美議員に要請(衆院第二議員会館)



民主党・大串博志議員に要請(衆院第一議員会館)

民主党・大串博志議員（衆院安保特別委員）

「民主党の考え方は、安倍政権が進める集団的自衛権の行使は許さない。恒久法も周辺事態法も認めない。拙速な審議ではだめだ。過去、一つの法律を上げるのも2国会や3国会をかけていた。それが今回は10本の法律を束にしているので、さらに時間をかけて審議するべきだ。野党は共闘して与党に対峙して問題点を指摘し、法案に反対していく。強行採決を許さないために頑張っていきたい」

共産党・志位和夫委員長，赤嶺政賢議員（衆院安保特別委員）

志位委員長：「頂いた要請は、しっかり受け止めて廃案のために力を合わせて頑張り抜くことを約束したい。いかにこの法案が危険かということ徹底的に追及し、違憲性を明らかにする。また、対米従属性についても追及していきながら、論戦を闘っていききたい。綱引きになると思うが、強行採決や修正に応じてはならないという状況をつくっていききたい。」

赤嶺議員：「国民の世論が委員会の流れを決める。野党の共闘が必要だ。与党と毎日対立しながら時間をかけて徹底論戦を挑んでいきたい」

社民党・吉田忠智党首

「与党はリスクが高まることを承知しながら認めようとしなない。総理は、最後は総合的に判断すると言っているが、もっと本質的な議論が行われた方がいいのではないか。8月まで国会が延長したとしても、それまでにあらゆる方法を駆使して野党が結束し、今国会中の成立は阻止するという一本に絞って頑張りたい。そのための接着剤の役割を社民党としてもしっかり果たしていききたい」

生活の党と山本太郎となかまたち・山本太郎共同代表

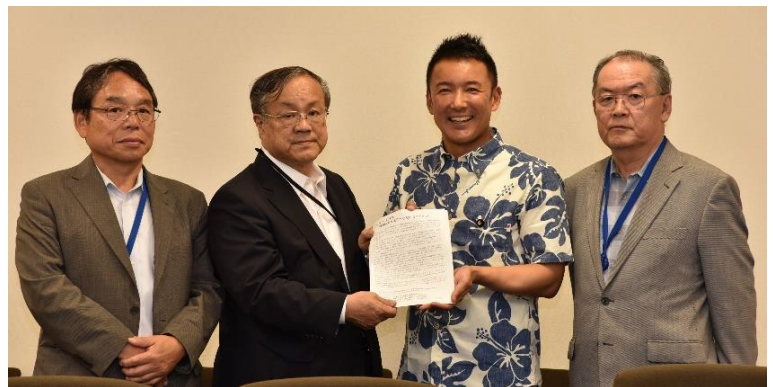
「5・3憲法集会ではヘリコプターに乗らせて頂きましたが、本当にたくさんの方が集まってよかった。今回の戦争法案を廃案に追い込むために、檄を飛ばしていききたい。党として国会で闘っていくので、皆さん一緒に頑張りましょう」



共産党・志位和夫委員長，赤嶺政賢議員に要請（衆院第一議員会館）



社民党・吉田忠智党首に要請（参院議員会館）



生活の党と山本太郎となかまたち・山本太郎議員に要請（参院議員会館）

■「戦争法案」を葬ろう 6.4院内集会

立憲フォーラムと戦争をさせない1000人委員会は6月4日、『戦争法案』を葬ろう 6.4院内集会」を参議院議員会館で開催しました。



開会挨拶する近藤昭一議員（立憲フォーラム代表）

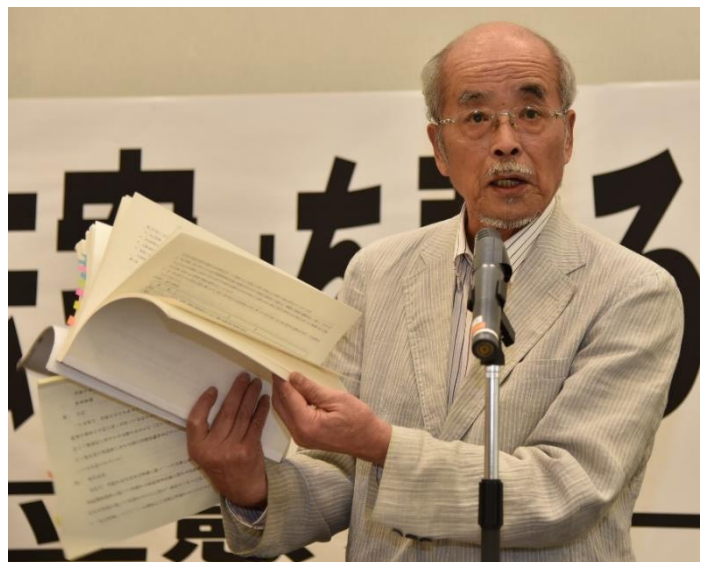
続いて、1000人委員会呼びかけ人の組坂繁之さん（部落解放同盟中央執行委員長）が登壇し、「福岡県で立ち上げた『戦争をさせない福岡県民委員会』では、7月上旬頃に大きな県民集会を開こうと準備を進めている。小学生の時、親や先生になぜ物言えぬ時代が来る前に反対しなかったのかと聞いたら、皆黙ってしまった。皆さん、今が反対する時です。絶対にこの戦争への道を阻止しましょう」と力強くアピールしました。



辻元清美議員（衆院安保特別委員）

最後に、辻元清美議員（衆院安保特別委員）が駆け付け、「安倍さんが『早く質問しろ』と私にヤジを飛ばしたが、あれはヤジのレベルの話ではない。憲法でも決められているように、好き勝手に答える権利は首相にはない。また、三権分立の点から立法府に対して行政府が暴言を吐いているのかと自民党の議員も問うべきだった。そういう法規範意識のなさを、私は『プチファシズム』だと認識し、危機感を持って臨んでいる」と、衆議院安保特別委における審議の様子を報告しました。

前田哲男さん（軍事評論家） PKOの時は国会が3つにまたがるほどであったが、今回の法案は一つの審議で一括して行おうとしている。これは本来の法律の審議のあり方ではない。一つの法律を条文ごとに審議するくらい、丁寧にやらなければならない。60年安保は、逐条審議のおかげで色々歯止めをかけることができた。自衛隊創立時の国会決議にあるように、我々には自衛隊に対する合意がある。自衛隊法改正だけで一つの審議を行うくらいでなければならない。また、憲法に対しても我々は合意をしてきた。そもそも安保自体が9条に違反しない範囲でと決めていたではないか。集団的自衛権は行使できないという法理の上に日米安保条約は結ばれた。アメリカもそれを認めた上で安保条約を結んだはずだ。だから、集団的自衛権の行使容認は掟破りの最たるものだ。我が国がとってきた憲法の下での安全保障政策からも逸脱する。1970年の第1回「防衛白書」から2014年版に至るまで、集団的自衛権は9条の下では行使できないと書いてある。こうした今までの経緯を踏まえて論戦を行う必要があるのだから、一括審議では無理がある。今回の法案は、公聴会などの場をもっと作るよう要請すべきだ。もっと国会の中で国民が発言できる状況を作ることに意



提出された安保関連法案の冊子に説明する前田哲男さん

集会には、立憲フォーラム代表の近藤昭一衆議院議員（民主党）ら国会議員も多数参加し、戦争法案の成立阻止のために国会審議を全力で闘う決意を表明しました。また、1000人委員会呼びかけ人の前田哲男さん（軍事評論家）が講演し、国会で審議されている内容について詳しい分析を行いました。



組坂繁之さん

義があるのではないか。ガイドラインについては、第三者を呼ぶなどしてこちらに主導権を持ってきて審議すべきだ。集団的自衛権行使容認と日米ガイドラインの改定が同時に進められているが、ガイドラインの方は水面下で結ばれた。行政協定を結んでから法律を審議するという流れを変える必要がある。

■6.4 戦争法案反対国会前連続集会（第3回）



1400人の参加者が詰めかけて戦争法案に抗議（衆院第二議員会館前）

6月4日、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会は、衆議院本会議で審議されている戦争関連法案の成立阻止を訴えるため、衆議院第二議員会館前で「戦争法案反対国会前連続集会（第3回）」を開きました。2回目を上回る1400人の市民らが参加し、国会に向かって抗議の声を上げました。

1000人委員会の呼びかけ人で憲法学者の清水雅彦さん（日本体育大学）は、「憲法研究者で今回の戦争法案に



清水雅彦さん

反対する声明を発表した。呼びかけ人・賛同人を手探りで探し始めてから、わずか1週間で170人ほど集まった。それほど今回の戦争法案は憲法研究者にとって問題がある。今日の衆議院の憲法審査会では、民主党が推薦した憲法学者の小林節さん（慶応大学名誉教授・弁護士）も、自民党・公明党・次世代の党が推薦した長谷部恭男さん（早稲田大学法学学術院教授）も、維新の党が推薦した笹田栄司さん（早稲田大学政治経済学術院教授）



憲法審査会で参考人全員「違憲」の新聞を手に抗議する参加者

も3人も戦争法案は違憲だと言った。彼らは

私とは見解がかなり違い、長谷部さんは9条については非武装平和主義ではないという考えだが、それでも戦争法案は違憲だと言った。改憲派の小林さんも違憲だと言った。それが憲法研究者の見解であり、賛同者の数にも表れている。ぜひ我々の声明を見て頂き広めてほしい」とアピールしました。



「6.20女の平和 ヒューマンチェーン」のプラカードを掲げてシュプレヒコールを上げる参加者



「オール埼玉総行動」には埼玉県1000人委員会も参加してデモ行進した（5月31日、北浦和公園）

また、「5.31 オール埼玉総行動実行委員会」の小出さんは、「オール埼玉総行動で5月31日、北浦和公園で1万人を超える大集会とデモを行った。戦争に反対する集会として、埼玉で1万人も集まったのは初めてだ。70年間築き上げてきた平和国家という大切なブランドを捨て去ってはならない、そういう気持ちで1万人もの人々が参加した。戦争をしたい政府にとって最も強敵は、良識ある自国の国民だ。何としてもオール日本の総行動で戦争法案を葬ろう」と訴えました。

■みなさんからのメッセージ

— 知らぬまに年齢 81。あと何年かなと近頃思ったりしています。そんな折、これは自分もやらねばと考えましたものがあります。「戦争をさせない全国署名」です。近い将来、戦争好きのアメリカに付き合っただけで日本の若者が各地の紛争や戦場でいのちを失うこととなります。日本の将来、50年後も70年後もこの国で生きて行く子孫たちのために、能力が低下してきた身ですが、この「戦争をさせない全国署名」をすることにしました。少しでもお力になれば幸甚です。（藤沢市・男性）



「戦争法案反対！」のシュプレヒコールを上げる参加者（6.4国会前連続集会にて）

— とうとう審議入りしました。無責任な答弁に怒りが収まりません。廃案に追い込むまでできることは何でもしていきたくと思っています。（熊本県・女性）

— 「戦争法案」の国会での本格審査がはじまりましたが首相の答弁を見たり聞いたりしていると、このような大切な時期に歴史もよく理解していない首相を持つ我々国民の行く末が恐ろしく悲劇的なことです。60年安保時のような力を我々が持っていないことが残念でなりません。頑張りましょう。



■集会・活動スケジュール

6月10日時点での予定です。日程変更や緊急の行動呼びかけをさせて頂くことがあります。行動の詳細は1000人委員会ホームページまたは、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」のウェブサイト <http://sogakari.com/> をご覧頂くか、事務局までお問い合わせください。

6月 11日（木）17時00分～ 「戦争法案」を葬ろう 6.11 院内集会 ※入場無料、入館証を配布
場 所：参議院議員会館一階 101号室
講 師：前田哲男さん（軍事評論家）
主 催：立憲フォーラム・戦争をさせない1000人委員会

6月 11日（木）18時30分～ 戦争法案反対国会前集会（連続行動第4回）
場 所：衆議院第2議員会館前

- 6月 14日(日) 14時00分～15時30分 「とめよう！戦争法案 集まろう！国会へ」
6.14 国会包囲行動
 場 所：国会議事堂周辺
 ※戦争をさせない1000人委員会は議員会館側
- 6月 15日(月)～24日(水) 10時00分～17時00分 (20日(土), 21日(日)除く)
戦争法案反対・国会前連続座り込み行動
 場 所：衆議院第2議員会館前
- 6月 18日(木) 18時30分～ **戦争法案反対国会前集会(連続行動第5回)**
 場 所：衆議院第2議員会館前
- 6月 24日(水) 18時30分～20時00分 「とめよう！戦争法案 集まろう！国会へ」
6.24 国会包囲行動
 場 所：国会議事堂周辺
 ※戦争をさせない1000人委員会は議員会館側
- 6月 25日(木) 18時30分～ **戦争法案反対国会前集会(連続行動第6回)**
 場 所：衆議院第2議員会館前
- 7月 2日(木) 18時30分～ **戦争法案反対国会前集会(連続行動第7回)**
 場 所：衆議院第2議員会館前
- 7月 9日(木) 18時30分～ **戦争法案反対国会前集会(連続行動第8回)**
 場 所：衆議院第2議員会館前
- 7月 14日(火) 18時30分～ **戦争法案反対！日比谷集会(仮称)**
 場 所：日比谷野外音楽堂
- 7月 16日(木) 18時30分～ **戦争法案反対国会前集会(連続行動第9回)**
 場 所：衆議院第2議員会館前
- 7月 23日(木) 18時30分～ **戦争法案反対国会前集会(連続行動第10回)**
 場 所：衆議院第2議員会館前
- 7月 26日(日) 14時00分～15時30分 「とめよう！戦争法案 集まろう！国会へ」
7.26 国会包囲行動
 場 所：国会議事堂周辺
 ※戦争をさせない1000人委員会は議員会館側
- 7月 27日(月)～ **国会情勢に対応し、座り込み行動を検討**
- 7月 30日(木) 18時30分～ **戦争法案反対国会前集会(連続行動第11回)**
 場 所：衆議院第2議員会館前

「戦争をさせない全国署名2015」第2次締め切り：6月30日

「戦争をさせない全国署名2015」の第2次集約締め切りは6月30日(火)です。
 第2次集約分は7月中に提出予定です。たくさんの署名をお待ちしております。